

車両窓ガラス鱗状痕の除去



ジェイアール四国メンテナンス 安藝 嘉三

1 はじめに

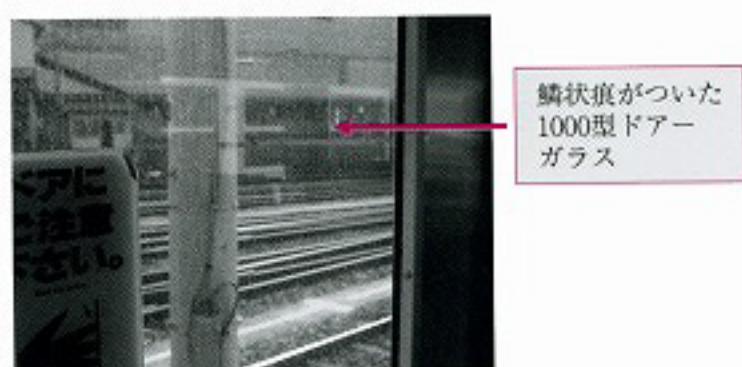
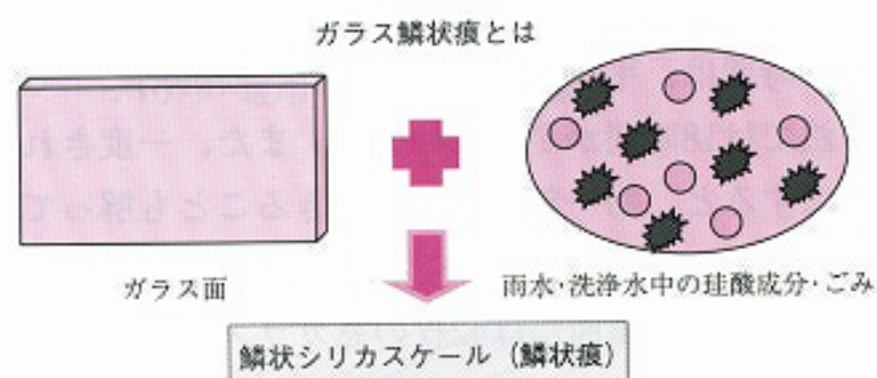
当社は、昭和45年4月に設立され、会社が提供する清掃サービスの品質保証、並びに、さらなる出来栄え向上を目差し「ISO9001:2000」の認証取得に向けキックオフし、平成17年度に車両、駅舎の清掃サービスについて認証を取得しました。昨年6月には、新たに構内入替業務と車両検修業務の全面受託を契機に、当社がJR四国の安全・安定・快適な輸送を、しっかりと支えるという意思を表明し、平成17年7月1日「四国車両整備株式会社」から、「株式会社ジェイアール四国メンテナンス」に社名変更しました。

業務内容としては、車両の清掃・運転所構内の排水設備・車両の給油、給水作業・駅舎、JRグループホテル、店舗の清掃・乗務員宿泊所等休養室の清掃・転てつ機の整備・構内入替作業・車両検修業務全般を行っています。事業所は四国管内に7支店があり、私たちの職場は、JR徳島運転所構内にあって、主に車両の清掃業務を受け持っています。お客様に対して、より高いサービスを提供して信頼される会社、また、清潔感あふれる快適空間を提供するには、車窓の景観も重要と考え、以下のように取り組みました。

2 鱗状痕とは

最近車両の窓ガラスに、非常に取れにくい沈着性の汚れが発生し、しかもそれが見苦しい程度まで進行しています。これらは、洗剤による洗浄後、水中のカルシウム分がシュウ酸と結合し、水溶性のシュウ酸カルシウムを作り、これが車体面上やガラス面上に残ると言われています。窓ガラスの外側表面に不明の白色または、淡黄色の斑点状不規則模様の汚れが沈着するのが見られます。これ

らの汚れは、各種の洗剤・塩酸・クレンガー等は全く効果を示さず、時間と共に汚れが進行しました。この汚れの原因は、洗浄すすぎに使用した水中のケイ酸分が、ガラス表面に残留した状態で乾燥し、表面に固形のケイ酸となって強固に付着したものです。



3 現状と経過

徳島運転所所属1000型車両40両の鱗状痕除去作業の方法は

- (1) ミニサンダーによる作業

